

令和6年（2024年）度行政評価シート【個表】 令和 6 年 6 月 21 日

評価対象事業		評価者	広報課長 石渡 千賀子	
共生-10	広報事業	☐ 自治事務	主管課	広報課
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	0-(1) 市民自治		施策の方針
		0-(1) 市民自治		

1 事業の目的

対象	市民等
意図	市政情報その他の情報を的確に市民等に伝えるため。
効果	市民の市政への参加及び参画を促進し、市政等に対する理解を深めてもらう。

2 令和5年(2023年)度を実施した事業の概要

・広報かまぐら編集・発行・配布を行った。	
・J:COM湘南・神奈川、鎌倉エフエムによる市政情報番組の放送の委託、広報板の維持・管理、ホームページの運用等の事業を行った。	
・SNS(X(旧Twitter)、Facebook、LINE)を用いた、きめ細やかな行政情報の発信に取り組んだ。また、令和3年度から開設している鎌倉市note公式アカウントにて、市の重点事業を中心とした事業や取組状況などの発信を行った。	

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和5年度		令和6年度	達成度
				指標(実績値／目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算／当初)(千円)		予算額(千円)	
01	広報かまぐら発行事業	広報紙製作委託料、 広報紙配布委託料	1号あたりの配布部数	79,400部 / 79,400部 ----- 35,568 / 35,618	76,850 ----- 38,891	100%	
02	市政番組放送事業	市政番組放送委託料 (J:COM湘南・神奈川、 鎌倉エフエム)	1日あたりの放送回数(J:COM、FM 平日、FM土日)※R5～J:COMも平 日と土日で放送回異	2回、3回、6回、2回 / 2回、3回、6回、2回 ----- 14,052 / 14,322	2回、3回、6回、2回 ----- 13,990	100%	
03	HP,SNS運用事業	ホームページ運用保守 業務委託料	市ホームページアクセ ス数(サイト全体の訪 問数)	3,259,292件 / 5,000,000件 ----- 5,476 / 5,488	- ----- 8,039	65.2%	
04	広報板維持管理事業	広報板掲示箇所	広報板設置数	121か所 / 123か所 ----- 1,912 / 2,100	- ----- 1,512	98.4%	
05	重点事業広報	note記事等製作業務、 広報戦略ディレクター 報酬	note投稿本数	32件 / 35件 ----- 3,130 / 3,920	35 ----- 2,920	91.4%	
06	その他庶務等	新聞記事複写使用 料、インターネット行政 情報サービス利用料		- / - ----- 2,331 / 2,269	- ----- 2,974	-	
		財源 内訳	国県支出金	278 / 310	268		
			地方債	0 / 0	0		
			その他特定財源	59,609 / 9,952	11,020		
			一般財源	2584 / 53,455	57,041		
			事業費の合計 (千円)	62,471 / 63,717	68,329		
		人件費 (千円)		55,656	59,878		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	5	6	6	6	6	
会計年度任用職員	11	10	10	7	8	

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	広報かまくら発行业	戸別配布を行っており、全市民に情報が行き渡っている。 なお、全市民に広報紙が行き渡ることが重要であることから、指標を1号当たりの配布部数に変更することとする。	全市民に市政情報が行き届くために必要な事業である。	市民により分かりやすい紙面になるよう、更に改善に努めていく。 配布漏れがあった場合には、速やかに対応していく。
02	市政番組放送事業	誰もが視聴しやすいテレビやラジオという媒体を使用し、わかりやすい情報発信を行っている。	誰もが視聴しやすいテレビやラジオという媒体を使用し、幅広い世代に情報を届けるために必要な事業である。	更に市民に興味を持ってもらえる番組になるよう内容を見直し、情報発信に努めていく。
03	HP,SNS運用事業	必要な情報発信に向け、その特徴にあわせたSNS等を活用し、きめ細やかな情報発信に努めている。 目標としたアクセス数は過去3年の平均値だが、新型コロナウイルスに関する情報へのアクセスが多く、令和5年度はその状況が落ち着いたことから、アクセス数は目標値まで達しなかった。	ホームページは必要な情報が必要な時に見られる重要なツールである。また、SNSは即時性があり、きめ細やかな情報発信を行うために必要な事業である。	市民が必要な情報を適切に届けられるよう、更なる情報発信に努めていく。 必要な情報が必要な時に見られるホームページの充実が目標の一つであるが、アクセス数は指標にそぐわないため、令和6年度から指標は設定しないこととする。
04	広報板維持管理事業	広報板の管理、運営を適切に行っている。 ただし、老朽化や周辺環境の変化により、撤去した所があったことから、広報板設置数の目標値には達しなかった。	ホームページなどのデジタルツールに対応が困難な人に向けての情報発信ツールとして必要な事業である。	利用状況を見極めながら、管理、運営につなげていく。 なお、本事業は、広報板の適切な維持管理ということを重要視していることから、単純に設置数だけを指標とすることはなじまないため、令和6年度から指標は設定しないこととする。
05	重点事業広報	市が定めた重点事業について、鎌倉市note公式アカウントを開設し、情報発信を行っている。 事業の進捗に合わせ、随時情報発信を行ったが、結果として目標値に達しなかった。	市の重点事業をわかりやすく周知するため、必要な事業である。	計画的に情報発信できるように、関係課と協力しながら取り組んでいく。
06	その他庶務等	新聞のクリッピングや消耗品などは指標分析に適さないため、指標の設定を行わない。	新聞のクリッピング等により、本市に関連した情報を、各職員が把握するため必要な事業である。	全職員に情報が届くよう、充実を図っていく。

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済
		○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している 協働実施済の場合のパートナー 株式会社サイネックス、鎌倉市点訳赤十字奉仕団、鎌倉朗読・録音奉仕会、鎌倉市聴覚障害者協会

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】

☒ 拡充☐ 改善・変更☐ 現状維持☐ 縮小☐ 休止・廃止

令和3年度に紙面構成の変更を行った「広報かまくら」は、情報発信の重要な媒体として、より読みやすい紙面作成を可能にすべく、公募型プロポーザルにより選定した事業者により制作業務委託を行うとともに、デザイン担当職員や編集担当職員などの専門職員が、関係各課と連携を図りながら紙面作成を行うことで、タイムリーな記事掲載を行うことができている。

また、ホームページやSNSを用いながら、あらゆる手段で情報発信を行うよう取り組んでおり、有効かつ公平であると判断している。協働事業としては、暮らしのガイドブックの新規発行のほか、音声版広報かまくらや点字版広報かまくらなどを製作しており、令和4年度からは手話版広報かまくらも毎号製作している。

今後も、市民ニーズや広報ツール等の変化に柔軟に対応しながら情報発信に努めるとともに、関係課と連携し、各事業の広報活動の充実に向け積極的に取り組んでいく。

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	広報かまくら月発行回数							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市
他市実績	1	2	1	2	1	1	1	1
比較事項	広報紙1部当たりの発行単価							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市
他市実績	19.0	10.7	8.6	8.3	41.3	11.7	41.8	45.2

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	広報紙は自治体によって月の発行回数が異なっており、タブロイド判かA4判、フルカラー版か一部カラー版、ページ数においても8ページ〜24ページ程度と差異があるため、それによって発行単価も異なっている。 本市においては、令和3年7月から月1回、タブロイド判フルカラー、12ページで発行を行っており、以前の月2回発行時と比較すると、発行回数が少なくなることで単価は上がるものの、近隣他市の発行単価平均(23.9円/部)とほぼ同等額であり妥当な金額であると考え。また、構成等の変更により、以前より読みやすい紙面で内容の充実に図ることが可能となった。
--------------------------	--